

2025年4月10日発行

東海生研 ～メールマガジン～ 第244号

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2025年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆今年度のNP0 法人東海地域生物系先端技術研究会の予定をお知らせします。

○総会・第1回セミナー 6月24日（火）ウイंकあいち 1101

セミナー講師：株式会社TOWING（トーイング）代表取締役 CEO 西田 宏平 氏

○第2回セミナー 9月4日（木）ウイंकあいち 1003

分科会別、東海バイオコミュニティから

○第3回セミナー 10月28日（火）（オンラインのみ）

○アグリビジネス創出フェア in 東海（展示会）、第4回セミナー 12月上中旬予定

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

★イベントのお知らせ

農業文化園・戸田川緑地で「VRで学ぼう！食べものができるまで」のコーナーの出展と
出向展示の実施

東海農政局は、農業文化園・戸田川緑地で開催されるイベント「春の物語」の期間中、
「食べものができるまで」をテーマにVR（バーチャルリアリティ）で学ぶ食育体験コー
ナーを出展します。

また、この期間中、会場で食育に関する出向展示を実施しています。

【食育に関する出向展示】

○タイトル「食べものについて、もっと考えてみよう！」

○ 展示パネルに関するクイズも実施！

展示期間：令和7年4月13日（日曜日）まで

▼詳細はこちら <https://www.aichi-now.jp/spots/detail/2145/>（外部リンク）

★セミナー参加者募集のお知らせ

1 地域の共食（こども食堂）づくりオンラインセミナーの開催

【全国食育推進ネットワーク会員の取組】

全国に広がる子ども食堂は1万か所を超えています。そのような中、立ち上げや運営の課
題

も見えてきています。

運営や立ち上げのサポートをした市原るり子氏の経験談が聞ける講座です。

【開催日時】 令和7年4月16日（水曜日）10時00分から1時間30分

詳細はこちら <https://www.chienowa-shokuiku.com/seminar-events>（外部リンク）

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆MEET UP CHUBU vol.62 「アグリテック～実証フィールド×未来の農林水産業をつくる～」のご案内

「共同研究、新事業展開に向けたオープンイノベーション（協業先の探索）」を目的としたイベントプラットフォームです。大学、企業、スタートアップなど、オープンイノベーション（協業先の探索）を希望する多様な登壇者が、自らの取組や協業者に求めるニーズ・シーズの発信を通じ、中部地域発の新たなプロジェクトが次々と生まれることを目指します。

また、ここで生まれたプロジェクトは、産学官の各種支援により、事業化・社会実装の加速を目指します。是非、皆様の御参加をお待ちしています。

○テーマ：アグリテック～実証フィールド×未来の農林水産業をつくる～

○日時：2025年4月24日（木）15:30～18:00

○場所：ナゴヤ イノベーターズ ガレージ（ナディアパーク 4F）

<https://garage-nagoya.or.jp/about/access/>

※オンライン（Microsoft Teams）とのハイブリッド開催

○定員：会場 80 名（先着順）/オンライン上限なし

○参加費：無料

○主催：中部経済産業局、中部経済連合会

○共催：農林水産省

○協力：豊橋市

○プログラム：

●「未来のアグリ・フードを創るオープンイノベーションの場」

「知」の集積と活用の場 産学官連携協議会

●「牛の行動変容を促し事故を減らす 起立困難予防装置ブジダス」

NTT テクノクロス株式会社 IOWN デジタルツインプラットフォーム事業部

マネージャー 赤野間 信行 氏

●「豊かな海を可視化する！～魚数カウントシステムの展開可能性～」

ヤンマーホールディングス株式会社 技術本部 イノベーションセンター

ビジネス推進部 専任課長 高田 直也 氏

●「害虫防除と安定生産に向けた振動農業技術の開発」

SDGs に貢献する新たな植物保護技術研究開発プラットフォーム

国立大学法人九州大学大学院 理学研究院 生物科学部門 生態科学研究室

教授 立田 晴記 氏

●「「日本一アグリテックフレンドリーなまち」をめざす！TOYOHASHI AGRI MEETUP」

豊橋市 地域イノベーション推進室

●「植物の光合成機能を向上させる「グルタチオン」で農業を変える」

株式会社 WAKU 代表取締役 姫野 亮佑 氏

●「持続可能な農業への知を集める：オープンイノベーションで“共生のための農業”を探索する」

東海国立大学機構名古屋大学 未来社会創造機構 オープンイノベーション推進室

室長／株式会社 Tokai Innovation Institute 取締役 COO 寺野 真明 氏

●「ネットワーキング」

○申込はこちら：

<https://www.chubu.meti.go.jp/b35innovation/meetupchubu/event/vol62.html>

○問い合わせ先

中部経済産業局 イノベーション推進課 担当：土屋、村上、藤原

Tel：052-951-2774 Mail：bzl-chb-innovation@meti.go.jp

☆近畿アグリテックの公開セミナー「健康な土をつくる～ミミズが教えてくれること～」の講演資料・動画がホームページで公開していますので、お知らせします。

(2026 年 3 月 31 日までの公開予定)

○開催日：2025 年 2 月 21 日（金）

○講演：「健康な土をつくる ～ミミズが教えてくれること～」

横浜国立大学・福島大学名誉教授 金子 信博 氏

○開催概要：土壌生態学の観点から、ミミズをはじめとした土壌生物のはたらきや植物との相互関係を通して健康な土壌の特徴やどのようにすれば自分の地域で健康な土づくりができるのかなどについて

<https://www.kinkiagri.or.jp/network.htm>

.....

4. 2024 年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

○省庁等

☆独立行政法人日本学術振興会：「令和 7（2025）年度科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）」

☆JST：「2025 年度 先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）単独公募募集」

○民間等

☆公益信託四方記念地球環境保全研究助成基金：「2025 年度研究助成」

☆公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金：「栄養改善に関する研究助成部門 2025 年度募集」

2025 年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆野菜関係

「試交 17-22」で高品質なナスをいっぱい穫ろう！—ナス新品種「試交 17-22」の栽培技術を確立—

開発の背景・ニーズ

2021 年に多収性で漬物加工適性の高い単為結果性とげなしナス「試交 17-22」(2021. 11. 29 登録出願)を本場で開発し、2023 年より本格的に栽培が開始されています。産地から品質の良さが評価された一方、従来品種と同様の管理方法で栽培したところ、暖候期のつや無し果の発生や 2 月までの収量の伸び悩みが課題に挙げられました。これらの課題を克服す技術確立に取り組み、栽培指針を作成しました。

成果の内容

剪定、かん水、摘葉について有効な管理方法を明らかにしました。

(1) 剪定方法：こまめな剪定（1 芽切り戻し）の徹底

(2) かん水方法：少量多頻度のかん水

(3) 摘葉方法：葉の摘葉は遅めにし、多くの葉を付けておくこれらの管理方法や品種の特性をまとめ、促成栽培向けナス「試交 17-22」の栽培指針を作成しました。

愛知県農業への貢献

栽培指針を活用することで、品種のスムーズな切り替えや品種特性を活かした高品質多収生産が可能となり、ナス生産者の経営安定化と産地の維持発展に貢献できます。

2024 年愛知県農業総合試験場の 10 大成果より

☆水稻関係

高温登熟性に優れる水稻早生品種‘清流のめぐみ’の育成

水稻新品種‘清流のめぐみ’は、早生で高温登熟性を有する縞葉枯病抵抗性の品種育成を目標に、早生で高温登熟性に優れる‘てんたかく’を母本に、早生で縞葉枯病抵抗性を有する岐系 125 号を父本とする組み合わせから得られた品種である。

早植栽培での出穂期及び成熟期は‘コシヒカリ’と同等であり、縞葉枯病抵抗性と耐倒伏性、そして高温登熟性を有し、玄米の外観品質が優れる。耐冷性は‘やや強’のため、県内平坦地だけでなく中山間地域においても栽培可能である。

岐阜県農業技術センター研究報告 第 21 号：1～7 (2023)

.....

編集後記

新しい年度がスタートしました。春の風が心地よく感じられるようになり、東海地域などでは桜が満開の季節を迎えて心が華やぎます。

さて、東海生研の事務所を移転しました。新事務所は農学部 A 館西 6F 634 号室です。

これまでと同様、今後ともよろしくお願い致します。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>